

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成23年6月23日(2011.6.23)

【公表番号】特表2010-527010(P2010-527010A)

【公表日】平成22年8月5日(2010.8.5)

【年通号数】公開・登録公報2010-031

【出願番号】特願2010-507712(P2010-507712)

【国際特許分類】

G 01 N 1/00 (2006.01)

G 01 N 27/26 (2006.01)

G 01 N 27/416 (2006.01)

A 61 B 5/1486 (2006.01)

【F I】

G 01 N 1/00 1 0 2 C

G 01 N 27/26 3 8 1 A

G 01 N 27/26 3 8 1 D

G 01 N 27/46 3 3 8

G 01 N 27/46 3 5 3

G 01 N 1/00 C

A 61 B 5/14 3 4 0

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月6日(2011.5.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被分析物センサーを較正する方法であつて：

第1の溶液を収納する容器を提供し、ただし、該センサーの検知領域は前記第1の溶液と接触しており；

該センサーより第1の較正信号を取得し；

注射器により前記第1の溶液を収納する容器中に第2の溶液のある量を添加し、その際に、前記センサーは、もう一つの較正信号を生成し；および

前記第1の較正信号および任意の追加の較正信号を使用して較正因子を計算し、それにより該被分析物センサーを較正することを含む方法。

【請求項2】

注射器により前記容器中に第2の溶液のある量を添加し、その際に、前記センサーは、もう一つの較正信号を生成する工程を繰り返すことを更に含む請求項1に記載の方法。

【請求項3】

注射器により前記容器中に第2の溶液のある量を添加し、その際に、前記センサーは、もう一つの較正信号を生成する工程を2回繰り返す請求項2に記載の方法。

【請求項4】

該第2の溶液の事前に計量された量を添加するために、前記注射器は少なくとも1回停止する請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記被分析物センサーはグルコースセンサーである請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記グルコースセンサーは血管内グルコースセンサーである請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記第 2 の溶液はグルコース溶液である請求項 5 に記載の方法。

【請求項 8】

前記グルコース溶液は 0 m g / d L および 1 0 g / d L の間のグルコース濃度を有する請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記被分析物センサーは pH センサーである請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記第 2 の溶液は酸である請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記第 2 の溶液は塩基である請求項 9 に記載の方法。

【請求項 12】

前記容器はトノメータである請求項 1 に記載の方法。